



**日章学園九州国際高等学校校長便り 文月**  
**建学の精神**：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す  
**学園スローガン**：心を一つに  
**学校教育目標**：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。  
**学園創立70周年** 令和2年（2020年）7月1日（水）校長 屋田伸仁



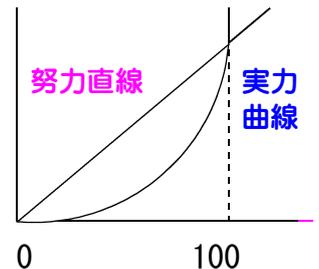
# 努力 vs 実力

## Break through



6月28日（日）に英語検定試験と中国語検定試験がありました。本校は国際高校なので、語学の資格取得に力を入れています。今回は生徒が英検2級と3級に、私は中検準4級に挑戦しました。語学の勉強は時間と根気が必要です。本校は40人学級の一斉授業ではなく、少人数指導で、家庭教師のように一人ひとり懇切ていねいに指導します。また、寮生は夜間学習も毎日のスケジュールに入っていますので、午後7時40分から2時間の自学自習をします。担当教員も見回りをして、生徒から質問があれば答えます。トコトンめんどろを見る学習の環境が整った「寮のある学校」です。

さて、努力と実力について話をします。語学習得もスポーツもそう簡単に高度な能力や技は身に付きません。水泳を例にとると、ある経験者は語ります。スイミングスクールに毎日通い続け、努力しているのにちっとも進歩しない。しかし、何十回、何百回も繰り返して、練習をして、ある頃を境に、急にラクにできるようになったと言います。毎日毎日あきらめずに努力したことが体や頭の中にだんだん蓄えられて、それがいっぱいになった時に、爆発するように実力が出てきたのです。このように努力は直線、実力は曲線で伸びていきます。努力直線と実力曲線が交わる所を**ブレイクスルー（突破口）**と呼ぶ人もいます。では、どれくらいがんばればブレイクスルーするのか？



100回（100日）ほどの努力の蓄積が必要です。「**読書百遍 意自ずから通ず**」ということわざもあります。難解な本も100回読めば意味もわかるということです。

ところで、偉大な業績を上げた人は天才と呼ばれ、特殊な能力の持ち主と考えがちですが、果たしてそうでしょうか？もし特別な能力があるとすれば、それは努力を続ける能力です。



発明家エジソン曰く、「天才とは1%の直感と99%の努力の汗」  
**Genius is 1% inspiration, 99% perspiration.**

イギリスの歴史家トーマス・カーライル曰く、「天才とは無限に努力できる能力のこと」  
**Genius is an infinite capacity for taking pains.**



## 教育手品 動画配信の第2弾

パソコンで日章学園九州国際高等学校のホームページ（<http://www.nissho.ac.jp/nkih/>）を開くと、校長が教育手品を使う動画が見られます。7月中旬に第2弾の配信予定です。「寮生活の早寝、早起き、朝ごはんが、輝く未来をつくる」という内容です。また、教育手品の講習の依頼も受け付けています。

【連絡先】 電話 (0984) 35-3500 日章学園九州国際高等学校 校長 屋田 伸仁

**Magic in Education 「教育に手品を」**

